

# 札幌市気候変動対策 行動計画

ゼロカーボン都市  
「環境首都・SAPPORO」を目指して

Action Plan of the Sapporo City for Countermeasures against  
Climate Change Challenges for the Goal of the Paris Agreement Limiting  
Global Warming to 1.5°C and Adaptation to the Impacts of Climate Change,  
Aiming to "CARBON NEUTRAL CITY SAPPORO"



2021年3月

札幌市

# ゼロカーボン都市の実現に向けた札幌の挑戦 (札幌市気候非常事態宣言)

“人類は自然に対して戦争を仕掛けているが、これは自殺的行為だ。自然は必ず反撃してくる。”  
これは、2020年12月に国連のアントニオ・グテーレス事務総長が行った演説での言葉です。

地球温暖化を要因とする気候変動により、記録的な熱波やハリケーン、洪水や干ばつなど、世界各地で大きな被害が現れており、生物多様性の崩壊や種の絶滅の危機、砂漠の拡大と森林の喪失といった形で、人類に対する自然の反撃がすでに始まっています。

この「気候危機」ともいえる状況の中、将来的な被害を最小限に抑えるためには、産業革命前に比べて世界の平均気温の上昇を1.5℃までに抑える必要があり、そのためには2050年までに世界全体の温室効果ガス排出量を実質ゼロにすることが求められています。

しかし、このままのペースで気温上昇が進むと、早ければ2030年には気温上昇が1.5℃に達すると予測されており、2030年に向けたこれからの10年が未来を決定するとも言われています。

この喫緊の課題に率先して取り組むため、札幌市では2020年2月、札幌市内から排出される温室効果ガスを2050年には実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」を目指すことを宣言しました。

本計画では、「ゼロカーボンシティ」の実現を見据えながら、2030年に温室効果ガス排出量を半減(2016年比で55%削減)するという極めて高い目標に向けて、気候変動対策を加速させていきます。

札幌市は、世界に誇れる環境都市を目指して2008年に「環境首都・札幌」を宣言したほか、持続可能な社会を目指す国際的目標であるSDGsに先導的に取り組み、2018年には、国から「SDGs未来都市」にも選定されています。

2022年には市制100周年の節目を迎え、次の100年に向けて新たな歩みを進めていきますが、四季の移ろいが豊かなこの札幌の素晴らしい環境を次世代の子どもたちに引き継いでいくためには、市民一人一人が気候変動問題への危機感や、対策・取組の必要性を共有し、気候危機に立ち向かって行動を進めていかなければなりません。

札幌市はここに「気候非常事態」を宣言するとともに、本計画に掲げる2050年のあるべき姿「心豊かにいつまでも安心して暮らせるゼロカーボン都市『環境首都・SAPP\_RO』」の実現に向け、市民、企業、行政などの様々な主体が一丸となって、省エネルギーの推進や再生可能エネルギーの活用、そして気候変動による自然災害や健康被害などの影響への適応策などに取り組んでいきます。



最後に、本計画の策定にあたり、ご尽力いただきました札幌市環境審議会、札幌市環境保全協議会の皆さまと、貴重なご意見をいただきました市民の皆さまに心から御礼申し上げます。

令和3年(2021年)3月

札幌市長 秋元克広

目次	<b>第1章 計画の位置づけと目的</b> …………… 3 1.1 計画の位置づけと目的…………… 3 1.2 関連計画との関係…………… 4 1.3 計画期間…………… 5 1.4 対象とする温室効果ガス…………… 5 1.5 計画の構成…………… 6 <b>第2章 気候変動の現状と動向</b> …………… 7 2.1 気候変動の現状と将来予測…………… 7 2.2 気候変動対策に関する国内外の動向…………… 14 <b>第3章 本市の地域特性</b> …………… 18 3.1 自然的条件…………… 18 3.2 社会的条件…………… 19 <b>第4章 気候変動対策に関する本市の取組経過</b> …………… 24 4.1 本市のこれまでの取組…………… 24 4.2 旧計画等の総括…………… 25 <b>第5章 2050年の目標とあるべき姿</b> …………… 31 5.1 2050年の目標…………… 31 5.2 2050年のあるべき姿…………… 32 5.3 取組の方向…………… 33 5.4 取組推進の視点…………… 34 <b>第6章 2030年の目標と達成に向けた取組(市民・事業者編)</b> …………… 36 6.1 2030年の目標…………… 36 6.2 2030年の目標達成に向けた施策と市民・事業者の役割…………… 38 6.3 2030年目標の達成に向けた主な取組…………… 39 6.4 取組による削減量の内訳…………… 57 <b>第7章 2030年の目標と達成に向けた取組(市役所編)</b> …………… 60 7.1 2030年の目標…………… 60 7.2 2030年目標の達成に向けた主な取組…………… 61 7.3 取組による削減量の内訳…………… 63 <b>第8章 気候変動の影響への適応策</b> …………… 66 8.1 適応策の目的…………… 66 8.2 適応策に取り組む分野…………… 67 8.3 本市で起こり得る影響と主な取組…………… 68 <b>第9章 進行管理</b> …………… 78 9.1 緩和策(温室効果ガスの削減)に関する進行管理…………… 78 9.2 適応策(気候変動の影響への適応)に関する進行管理…………… 79 9.3 計画の見直し…………… 79	
資料編	<b>1 計画策定の経過</b> …………… 1 (1) 札幌市環境審議会での審議…………… 2 (2) 札幌市環境保全協議会での協議…………… 4 (3) 札幌市温暖化対策推進計画改定に向けた実践者ワークショップ…………… 6 (4) 札幌市みんなの気候変動ゼミ・ワークショップ…………… 7 (5) 自治体職員等のための『適応』セミナー～気候変動の影響に備える～ 9 <b>2 パブリックコメント・キッズコメント</b> …………… 10 <b>3 温室効果ガス排出量の算定方法</b> …………… 11	